

1 平成18年度 中高連携英語力向上プロジェクト研究推進構想 可茂地区

研究協力校 御嵩町立向陽中学校

岐阜県立東濃高等学校

これまでの取組と生徒の実態

中学校

- ・ コミュニカティブな言語活動を通して、生徒が英語を使って情報のやりとりをすることへの意欲が高まりつつある。
- ・ クラスルームイングリッシュをできるだけ使った授業になってきている。生徒の英語使用量も増えてきている。
- ・ コミュニケーションの力としての基礎・基本をさらに明確にし、定着を図る学習活動の工夫をしていきたい。

高等学校

- ・ 基本的な表現や授業で習得した表現以外に、自ら考えて様々な表現にチャレンジしようとする意識を今後も追究していきたい。
- ・ Oral Communication の授業では生徒が中心に活動できる場ができてきたので、スムーズな流れにしていきたい。
- ・ 中学校でどのような活動がされてきたのかを掴み、高校での授業の工夫をしたい。

< プロジェクトを通して付けたい力、大切にしていくこと、明らかにしたいこと >

生徒一人一人の実態を把握し、英語学習への意欲の高揚を図る指導の充実
コミュニケーション能力を育成するための基礎的・基本的な内容の定着を図る指導の充実

平成18年度の具体的取り組み内容

中学校

< 研究の重点 >

意欲的に取り組めるコミュニケーションを図る活動の実践を通しての基礎・基本の定着

英語学習に対する意欲の高揚を図る指導

- ・ 帯活動の工夫
- ・ 生徒に学習内容や表現の具体的なイメージをもたせる導入の工夫
- ・ 必然性のあるコミカティブな言語活動の工夫
- ・ クラスルームイングリッシュの見直しと多様化

基礎的・基本的な内容の定着のための工夫

- ・ 必要な基礎・基本の洗い出し
- ・ 「読む」「書く」活動の意図的な位置付け
- ・ 提示資料・学習プリントの工夫
- ・ 個に応じた指導・評価の工夫
- ・ 単位時間の「ねらい」「課題」「評価規準」を明確にした単元指導計画の改善
- ・ 4領域の系統性のある年間指導計画の改善

高等学校

< 研究の重点 >

英語の基礎的な知識の定着と学習意欲を高めるための教材の工夫と指導法を研究し、コミュニケーション能力の育成に生かす

英語学習に対する意欲の高揚を図る指導

- ・ ペアワークや少人数指導など、個に応じた指導の実施
- ・ CD, DVD 等の視聴覚教材を効果的に利用した指導の実施
- ・ ALT と TT の内容充実（ネイティブの英語にできるだけ多く触れさせるための工夫）
- ・ 予習の手助けとなるプリントなどの作成

基礎的・基本的な内容の定着のための工夫

- ・ 中学校英語の復習による、基礎・基本の定着
- ・ リスニング能力の育成
- ・ 個々の生徒の力を把握するためのプリントの作成と工夫
- ・ 小テストの実施による既習事項の定着